



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai1-chu/>

令和7年度 第5号

校長 猪又 雅広

令和7年9月10日



令和7年度前期学校評価保護者自由記述について

前回の学校だよりでは各設問の肯定的評価の割合をお知らせしました。今回は沢山ご意見・ご感想いただいた保護者自由記述についてお知らせさせていただきます。

また学校評価の設問について生徒への質問「学校の活動で地域の方たちと共に学ぶ機会がありますか」について、「地域の方たち」とは学校として近隣の国府台高等学校等の連携や2年生の職場体験もここに含まれると考えています。この点について生徒たちにも伝えていきます。また今後、継続して本校の特色として国府台高等学校、和洋国府台女子中学校高等学校大学、千葉商科大学、東京科学大学等の近隣の学校と連携事業を進めていきます。

1. 本校の教育活動やお子様の学校生活について、よいと感じていることや安心している事 63の回答(抜粋)

- ・生徒主体の教育方針が、子供達の様々な力をつけている事へと繋がっているように感じました。体育祭では、生徒が主となって動いているのが良く分かりました。先生方の関わりがとても良いのだと感じました。
- ・昨今の酷暑に対応し、体操服での登下校が毎年許可されるようになり、熱中症対策に適応していると思います。先日の運動会は見ごたえがあって楽しかったです。子供たちの主体性も感じました。こんなにも自分たちで考えてできるものかとびっくりしました。
- ・腹痛で数分遅刻してしまった際、学校から連絡いただき、親としては子供の安否確認をしっかりといただいていると感じ、安心しました。
- ・自主性を重んじていてよいと思います。それだけではなく必要な厳しさがあるので良いかと思えます。
- ・授業参観では、皆で和気あいあいと積極的に授業に参加している様子が見られて安心しました。
- ・教室で過ごすことが難しい状態ですが、えのき相談室や学習室など教室以外に過ごせる場所があることが支えになっています。先生方が見に来てくださったり雑談をしてくれたりすることが楽しいようです。親としても気にかけていただいていることを感じ安心しております。
- ・派閥もなく、クラスの雰囲気がとても良いと言っています。子供たちは部活の顧問、担任の先生はもちろんですが、ほかの先生方もすごく慕っている様子です。楽しく通えている様子なので本当に感謝しております。
- ・体育祭では学校行事に全力で取り組んで、皆で楽しもうという雰囲気作りが感じられました。運動の苦手な生徒でも力を合わせて楽しめる。活躍できるルール良いと思います。オープンスクールでは小学生の弟を連れて参観しました。生徒さんが楽しそうに真剣に授業に取り組む姿を見て「中学に行くのが楽しみ」と良いお手本になってくれました。
- ・キャリア学習での職場体験はとてもいい経験になりました。
- ・一中ブログの更新ありがとうございます。拝見するのが楽しみです。
- ・保護者面談で子供の生活や学習、学校生活について細かく情報提供できて感謝しています。

・色々とグループで話し合って決める事があり、このやり方はとても良いと思いました。

2. より良い学校づくりのために改善できるとよいと感じている。(提案も含めて) 65の回答への対応(現時点で回答できることを書かせていただきました。なお原文のまま掲載すると記載しきれないため主訴のみ書かせていただきました。)

(1)施設面への要望

回答:雨漏りについては、この夏休み中に改修されました。それ以外については学校として引き続き、必要な改修要望をしていきます。

(4)学校連絡メールについて

回答:修学旅行等、タイムリーにHPで掲載する際は、メールで連絡させていただきます。

(11)学年だよりについて

回答:10月より各学年別に学年だよりを出させていただきます。

(13)悪天候等登校時間変更の要望

回答:千葉県北西部警報以外でも、天候等が心配な場合は、ご家庭の判断で登校時刻を遅らせても遅刻といたしません。必ず遅れる旨の連絡を学校に入れてください。

(32)体育祭平日開催について

回答:コロナ禍を機に体育祭・運動会の開催方法が平日開催や半日開催に市内の多くの学校で見直されました。教育課程の休日開催についてはそれぞれも目的を考え、生徒の休日の活動確保や教職員の働き方改革等、総合的に考えて今年度、平日開催といたしました。成果と課題を確認して開催日について考えていきます。

(14)教員の対応について(24)教員の指導の仕方について(28)学級の雰囲気

(30)保護者や生徒と先生方が話しやすい環境づくり

回答:14・24・28・30について教職員で共有して生徒の健全育成につながる対応を考えていきます。

(31)学校に協力したい

回答:有難いです。これから部活動地域展開等、保護者や地域に子どもを育てるために必要なことをお願いさせていただきます。

(5)校則についての要望

回答:校則(ルール)は自分たちの学校生活を守るものと考えています。今年、生徒から提案があり校則検討委員会を発足します。生徒たちが自分たちの生活を改善する当事者意識が持てるよう出来るだけ権限を委譲して、校則の1つ1つの目的を考えさせながら、丁寧に校則の見直しを図っていきます。なお通学バックについても同様です。

(17)席替えや班分けについて

回答:学校は民主主義の土台を培う場と考えています。班長は学級の投票で決まります。班長を自分たちで決めることで全ての生徒に当事者意識と責任感を持ってほしいと考えています。実体験をさせながら生徒自らが学級の平和を考える力をつけさせたいと考えています。生徒は冷静に状況を把握して、正当な判断できる力を持っています。そこを大切にしながらこれからもやっていきたいと考えています。

※裏面に続く:コーチング研修を行いました。

(22)いじめや盗難について

回答:生徒指導の対応については、未然防止に努めると共に、定期的な教育相談、アンケート等により早期発見に取り組んでいます。具体的な対応については校内の管理職をはじめとする関係職員を中心に全職員で組織的に行います。併せて学校外の関係機関とも連携を図り、法や福祉の専門家の視点を踏まえ対応しています。

※何か、お困りのことがあれば遠慮せず担任を含め、誰でも話しやすい職員にご相談ください。

(6)ICTの活用

回答:ICT活用は目的でなく手段と考えています。対面とICTそれぞれの良さを活用できるように授業研究を全ての教科で実施して、外部より講師に来ていただき指導を受けながらより良い方法を研修して、生徒に還元できるようにしていきます。またデジタルデバインドについても今後考えていかなければいけない事だと考えています。貴重なご意見ありがとうございました。

(16)進路指導について

回答:今年度7月3日に公立2校、私立3校の高校の先生に来ていただき、3年生生徒、保護者対象に校内高校説明会を実施しました。7月15日には国府台高校の教員養成コースの生徒が3年生各学級に入って高校生活等について情報提供してくれました。9月26日に和洋の高校見学会を予定しています。今後も積極的に情報発信できるようにしていきます。

(18)学習評価について

回答:2学期に全ての教科において授業研究を行い、外部より講師に来ていただき指導を受けながらより良い方法を研修して、生徒たちに還元できるようにしていきます。

(20)みんなで何かを作り上げる機会が欲しい。失敗の体験をさせてほしい。

回答:現在ある行事の取り組み方を更に生徒主体の形に変えながら、大人がレールを引くのではなく自分たちで創り上げる経験をさせていきたいと考えています。また全ての教育活動において教員が教えるだけでなく、コーチングをして生徒自身が自ら決めた目標を達成できた経験や失敗をして取り返す経験を通して生きる力をつけさせたいと考えています。

(23)部活動について

回答:今後、本校でも部活動の地域展開を進めていきます。生徒たちの活動機会の確保と教員の働き方改革を踏まえ持続可能な形を考えて進めてきたいと考えております。

(3)体育祭テントについて

回答:生徒の安全を第一に考えた対応をしていきます。今後、生徒全員が入れるテントの購入を検討していきます。

(15)給食について

回答:アレルギー等給食に関して心配なことがあれば、必ず担任に相談してください。

～たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。後期の学校評価もよろしくお願いします。～

お知らせ:学校生活の日々の様子、給食献立、各種連絡等を随時、
学校ホームページに掲載して更新していきます。是非ご覧ください。



教職員コーチング研修を行いました

夏季休業中 8月29日金曜日、東京科学大学の水野先生を講師にお招きして教員対象のコーチング研修を行いました。なぜ教員にコーチングが必要かという、これからの子どもたちが生きていく時代は人生100年時代です。一生の流れとして教育を受けて学ぶ時期、仕事をして働く時期、引退して引退後の人生を過ごすといった単純なライフステージでは対応不可能になります。学生時代に学んだ知識が一生涯通用するわけではなく、人生の節目毎に新たなスキルを身に付けるために主体的に学んでいかなければなりません。そこで求められるのは自ら主体的に学ぶ姿勢です。それが今、教育の中で求められており、本研修を行いました。

また一中の生徒には生徒主体の学校創りを進めてほしいと考えています。今年は生徒総会で校則検討委員会が立ち上がることになりました。学校は生徒たちが自分たちの学校生活をより良くするために自分たちのルールを決める事が必要だと考えています。そのためには各自が自分の考えを持って仲間と話し合うことができる必要があります。我々教員も今までいかに上手に教えるかを実践して来ましたが、だからこそ生徒に考えさせて答えを引き出すコーチングが必要だと考え今回研修を通して、勉強させていただきました。今回、先生に教えていただいたことをいくつか紹介させていただきます。

○ティーチングとコーチング

- ・ティーチング: 私が持っている答えを指示や命令、指導で教える。問題は早く解決されるが相手は受け身になる。答えが与えられるのを待つようになる。(指示待ち)
- ・コーチング: 相手が持っている「答え」を質問で引き出す。相手が考えることで、こちらが思ってもみなかった「答え」を引き出せる可能性がある。相手の自主性が芽生える。

○コーチングの基本

- ・答・能力・可能性は、相手の中にある。
- ・100% 相手の見方(運命共同体)
- ・相手が自ら気づき、自ら動くことをサポートする(自己成長への支援)

子どもから答えを引き出すには、その過程で教えること(ティーチング)も必要になるでしょう。また我慢強く答えが出るまで待つことも必要でしょう。人が成長するためには労力が必要です。でも子どもたちの将来を考えコーチングを先生方には実践して教育活動に臨んでほしいと考えています。ご家庭でもコーチングを実践して学校と家庭が一つになって子どもたちの主体性を育めればと思います。是非ともご協力をお願いします。

AとBの関係の共通点から見るコーチの役割

